



# 第64期(平成24年3月期) 第2四半期決算説明会資料

---

平成23年10月31日



東洋水産株式会社

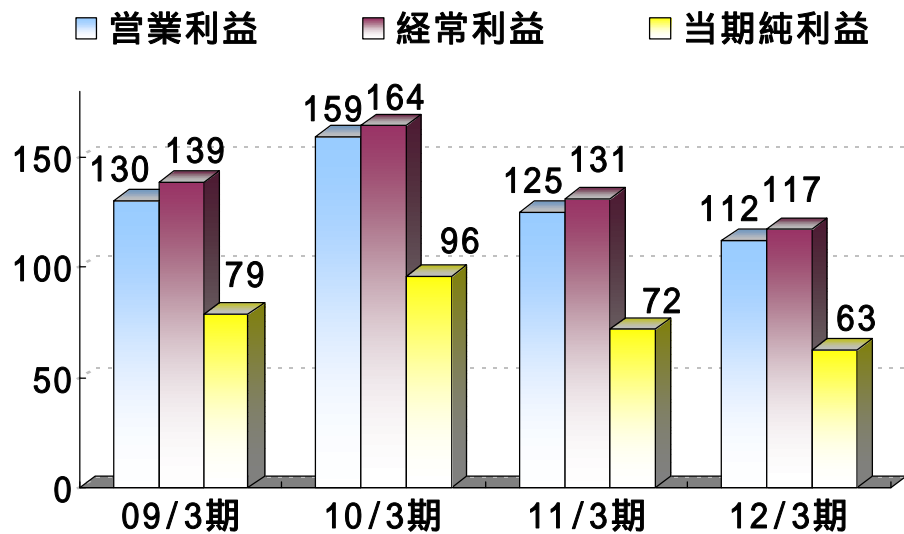
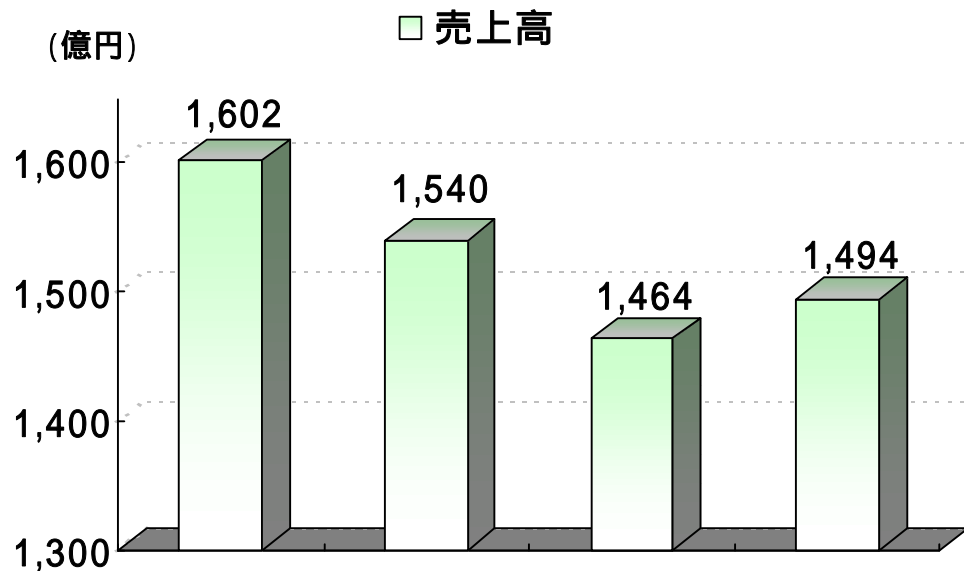


# 目次

	(頁)		(頁)
第2四半期(累計)連結業績	3	通期見通し	
上半期概況		国内即席麺事業	15
国内即席麺事業	6	低温食品事業	15
低温食品事業	8	加工食品事業	18
加工食品事業	10	水産食品・冷蔵事業	18
水産食品・冷蔵事業	11	海外即席麺事業	19
海外即席麺事業	12	連結通期予想	21



# 第2四半期(累計)連結業績



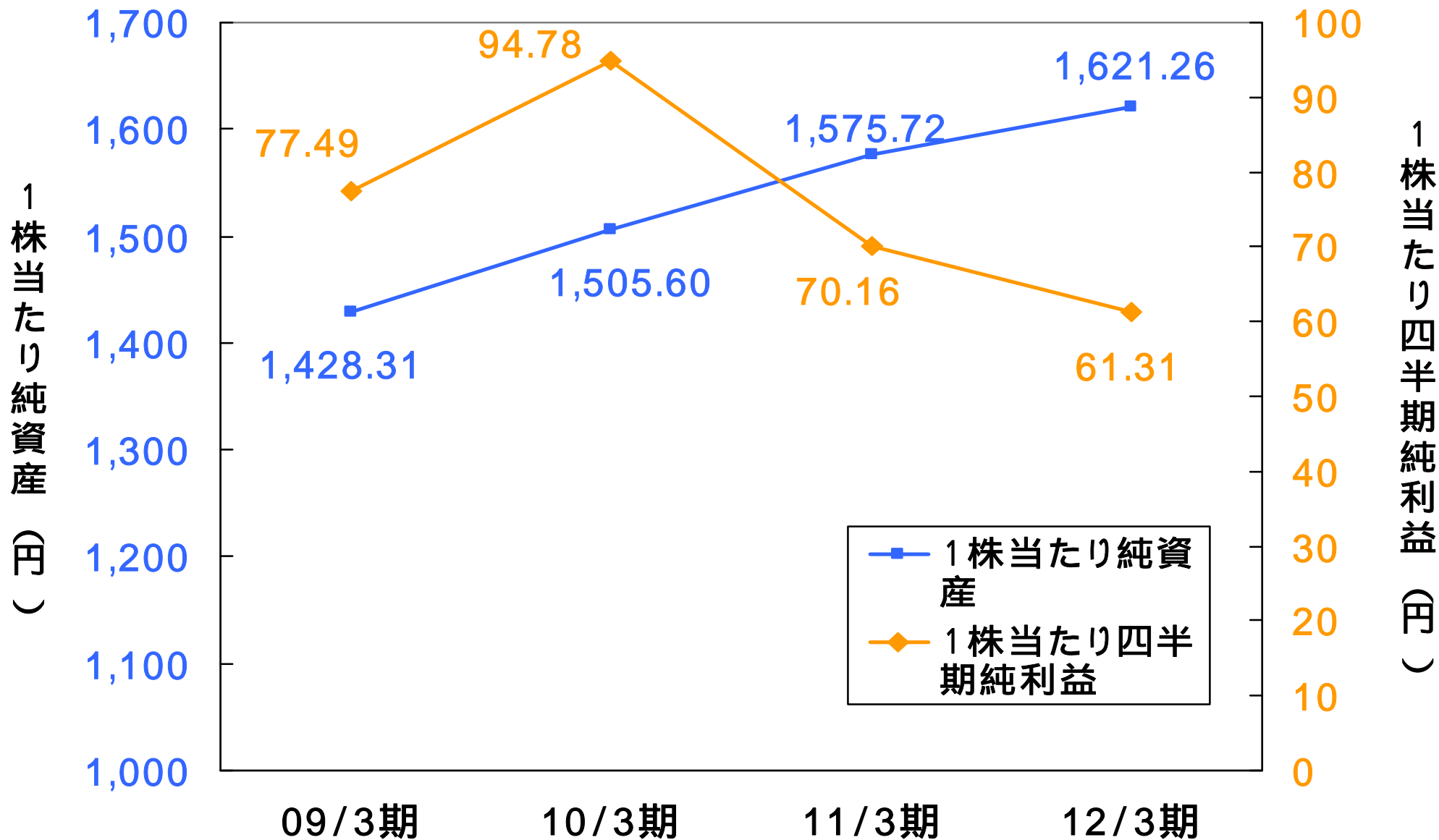
(億円)

	11/3期	12/3期	増減	
水産食品事業	160	150	-10	-6.0%
海外即席麺事業	239	254	+15	+6.3%
国内即席麺事業	430	451	+21	+4.8%
低温食品事業	336	333	-3	-1.0%
加工食品事業	92	78	-13	-14.4%
冷蔵事業	65	76	+11	+16.3%
その他	138	153	+15	+10.6%
(調整額)	4	-0	-4	-
<b>売上高合計</b>	<b>1,464</b>	<b>1,494</b>	<b>+31</b>	<b>+2.1%</b>

水産食品事業	3	5	+2	+65.9%
海外即席麺事業	42	27	-15	-35.4%
国内即席麺事業	40	45	+4	+10.0%
低温食品事業	25	21	-4	-17.2%
加工食品事業	3	2	-1	-20.2%
冷蔵事業	4	6	+3	+83.3%
その他	9	10	+0	+1.5%
(調整額)	-3	-4	-2	-
<b>営業利益合計</b>	<b>125</b>	<b>112</b>	<b>-12</b>	<b>-10.0%</b>



# 第2四半期(累計)連結業績・・・経営指標の推移





# 上半期概況

---

---



# 上半期実績 国内即席麺事業

## 即席麺市場の状況

- ・ 家庭内買い置き食料として  
一時的に需要増加



## 当社の販売状況

- ・ カップ麺主力品を中心に好調
- ・ 袋麺は前期並

## 利益の状況

- ・ 小麦粉を中心に原材料費増加
- ・ 製造効率化等により対応



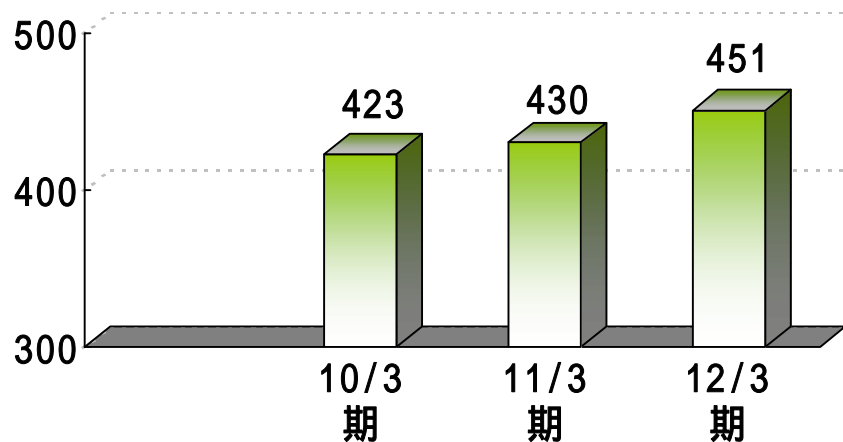


# 上半期実績 国内即席麺事業

売上高  
(億円)

国内即席麺事業

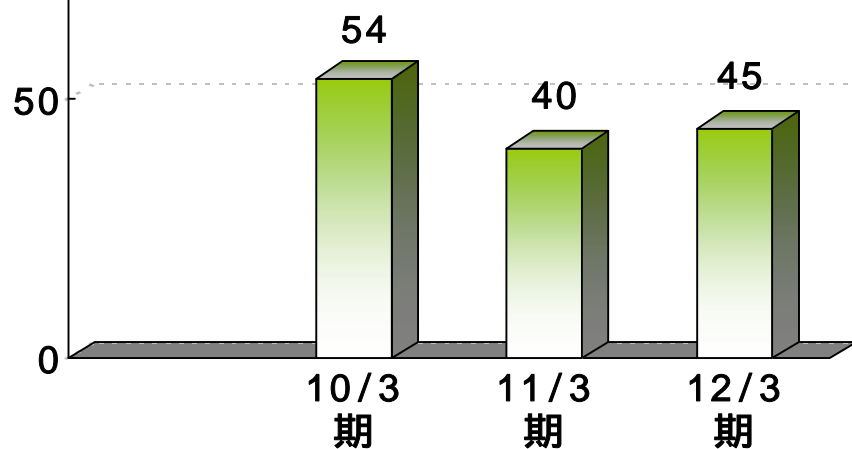
(単位:億円)



	11/3期	12/3期	増減	
売上高	430	451	+21	+4.8%
営業利益	40	45	+4	+10.0%

営業利益

(億円)



要因	影響額
売上高増による利益増加	+ 6
原材料費増加	- 2
製造経費増加	- 6
販管費減少	+ 6
合計	+ 4



# 上半期実績 低温食品事業

## 生 麺

### 生麺市場はほぼ前期並み

- ・ 震災や節電対策により、焼そば類伸長
- ・ 昨年の猛暑の反動により、冷し中華類は前年割れ

### 当社の状況

- ・ 「つけ麺類」のブーム一巡感
- ・ 小麦粉など原材料費高騰が利益圧迫



## 冷凍食品

- ・ 震災の影響で外食産業厳しい
- ・ 外食低迷により業務用冷凍麺への影響大きい

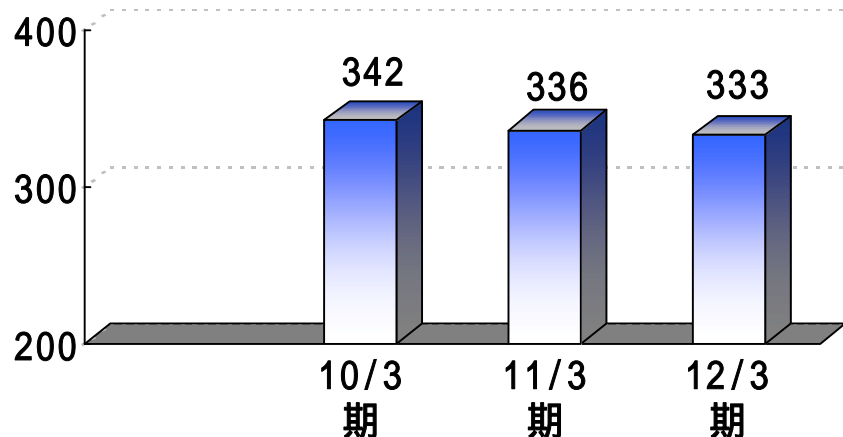






# 上半期実績 低温食品事業

売上高  
(億円)



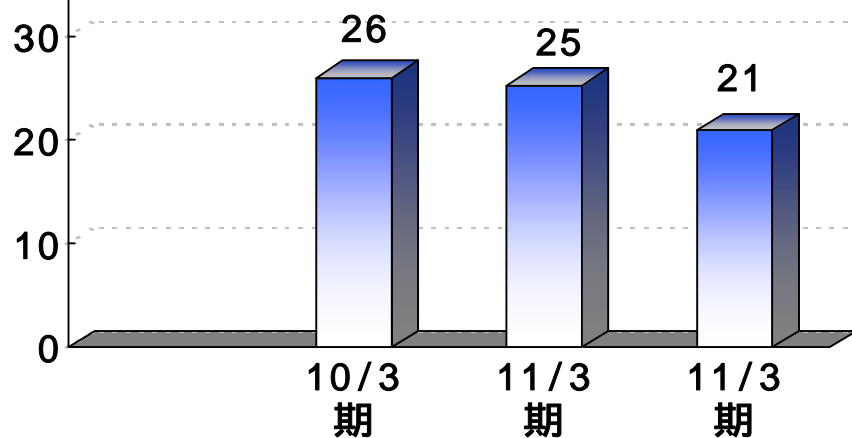
## 低温食品事業

(単位: 億円)

	11/3期	12/3期	増減	
売上高	336	333	-3	-1.0%
営業利益	25	21	-4	-17.2%

営業利益

(億円)



要因	影響額
売上高減による利益減少	-1
原材料費増加	-2
製造経費増加	±0
販管費増加	-1
合計	-4



# 上半期実績 加工食品事業

## 米飯

- ・ 家庭内炊飯の増加や消費者の低価格志向により  
販売環境厳しい
- ・ 放射能問題で原料価格が高騰
- ・ オムライス用ごはん、有名店とのコラボレーション商品発売
- ・ 震災の影響で製造が止まり販売に影響



## FD製品

- ・ 簡便・本物志向の流れでFDスープ類が堅調に推移
- ・ FD製法の特性を活かした商品開発  
(素材感を活かした南欧産トマトスープなど)





# 上半期実績 水産食品・冷蔵事業

## 水産食品事業

- ・ 世界的な水産品需要増加
- ・ 東日本大震災の影響による販売減少

## 冷蔵事業

- ・ 積極的な営業活動による取り扱い貨物増加
- ・ 夏場の節電対応により食品メーカーが在庫積み増し



# 上半期実績 海外即席麺事業

## 北米の販売環境

- ・ 長引く不況による高失業率、生活防衛意識の高まり
- ・ 欧州金融不安による不透明感
- ・ アメリカにおける貧困層拡大



## 小売、他社の動き

- ・ 他の大手食品メーカーは昨年から先行値上げ
- ・ 主要小売は低価格品で集客



## 当社の状況

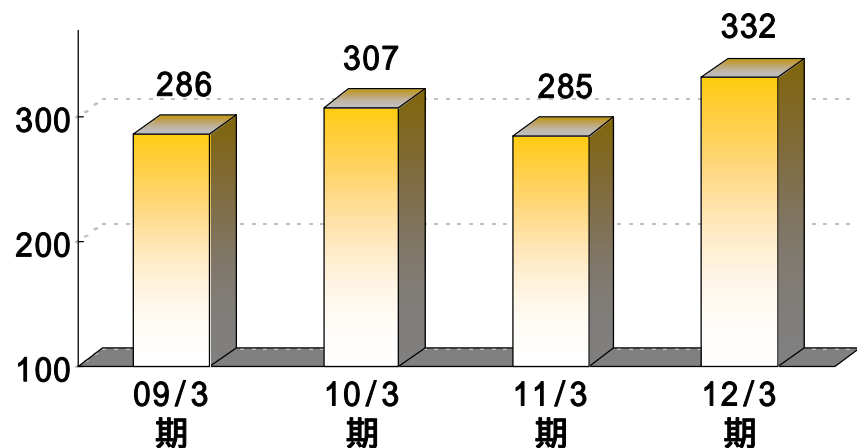
- ・ 即席麺に割安感、販売好調
- ・ アメリカ、メキシコとも数量目標クリア





# 上半期実績 海外即席麺事業

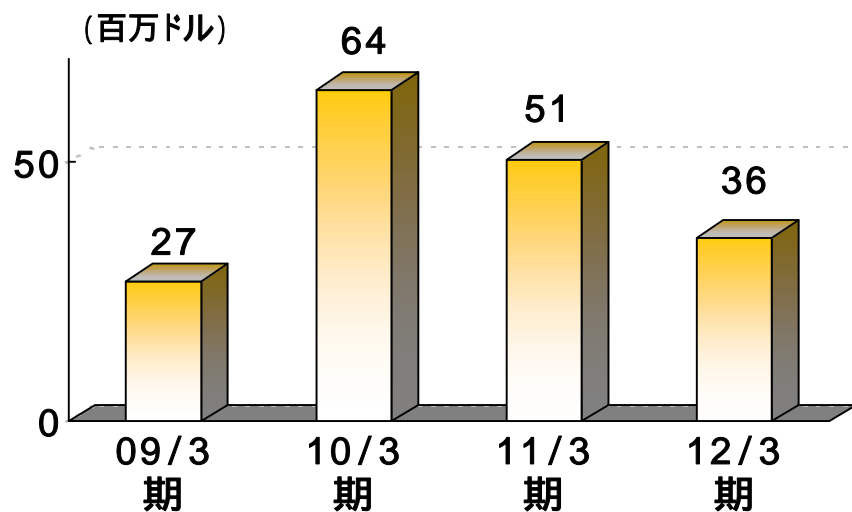
売上高  
(百万ドル)



## 海外即席麺事業

(単位:百万ドル)

営業利益



	11/3期	12/3期	増減	
売上高	285	332	+46	+16.2%
営業利益	51	36	-15	-29.4%

要因	影響額
売上高増による利益増加	+ 24
原材料費増加	- 35
製造経費増加	- 2
販管費増加	- 2
合計	- 15



# 通期見通し



# 通期見通し 国内

## 国内即席麺事業

- ・ 和風麺など主力商品の販売強化
- ・ 新技術を採用した「マルちゃん正麺」新発売
- ・ 広告宣伝積極投入



## 低温食品事業

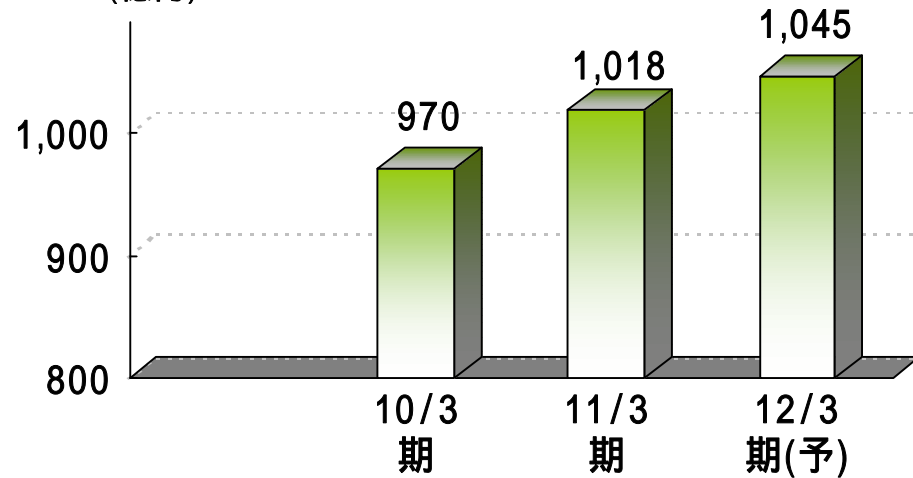
- ・ 内食化傾向継続の可能性
- ・ 新商品開発、リニューアルによる活性化
- ・ 消費者キャンペーン実施による需要喚起





# 通期見通し 国内即席麺事業

売上高  
(億円)

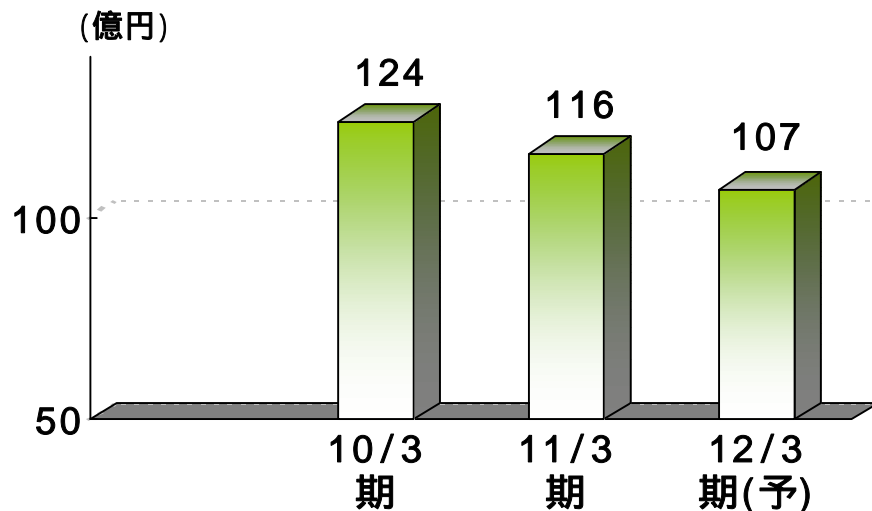


国内即席麺事業

(単位:億円)

	11/3期	12/3期(予)	増減	
売上高	1,018	1,045	+27	+2.7%
営業利益	116	107	-9	-8.1%

営業利益



要因	影響額
売上高増による利益増加	+ 8
原材料費増加	- 9
製造経費増加	- 9
販管費減少	+ 1
合計	- 9



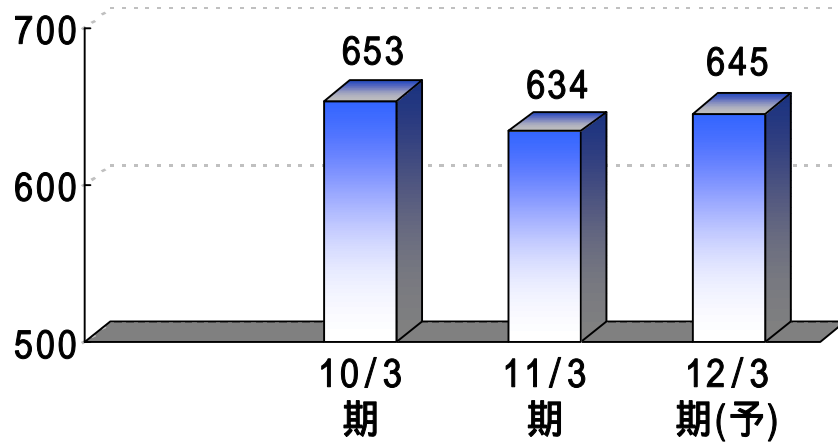


# 通期見通し 低温食品事業

## 低温食品事業

売上高  
(億円)

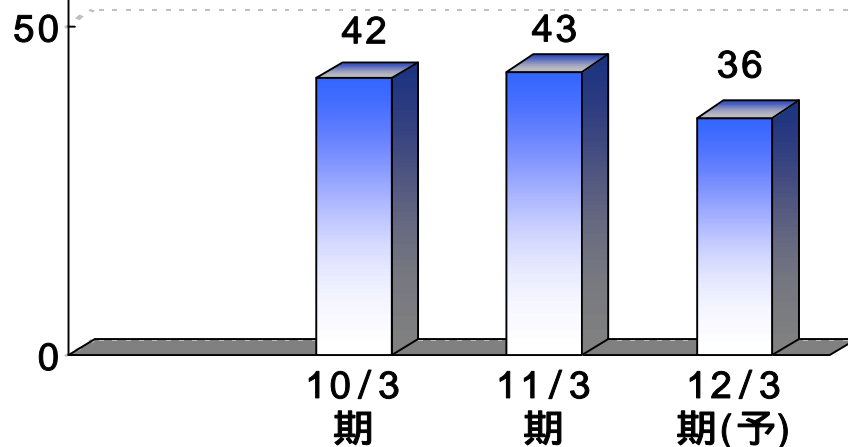
(単位:億円)



	11/3期	12/3期(予)	増減	
売上高	634	645	+11	+1.8%
営業利益	43	36	-7	-16.0%

営業利益

(億円)



要因	影響額
売上高増による利益増加	+ 3
原材料費増加	- 5
製造経費減少	± 0
販管費増加	- 5
合計	- 7



# 通期見通し 国内

## 加工食品事業

- ・ 既存品はコストダウンによる低価格志向への対応
- ・ こだわりの有る新商品開発による幅広い商品展開

## 水産食品事業

- ・ 年末商材、得意商材の積極的な販売、新商品開発

## 冷蔵事業

- ・ 景気悪化による影響に不透明感



# 通期見通し 海外即席麺事業

## 下期の販売環境

- ・ 原料相場下落による  
小売からの値下げ要求の可能性
- ・ 一部食品メーカーによる販促再開
- ・ 欧州不安に端を発したペソ安



## 当社の対応

- ・ 再値上げを実施したものの、  
販促対応の可能性あり
- ・ 新製品、新カテゴリ品の開発を検討



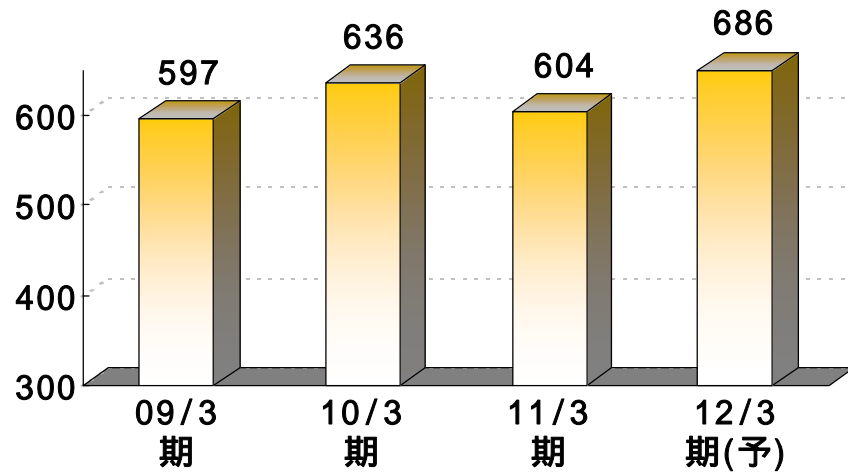


# 通期見通し 海外即席麺事業

売上高  
(百万ドル)

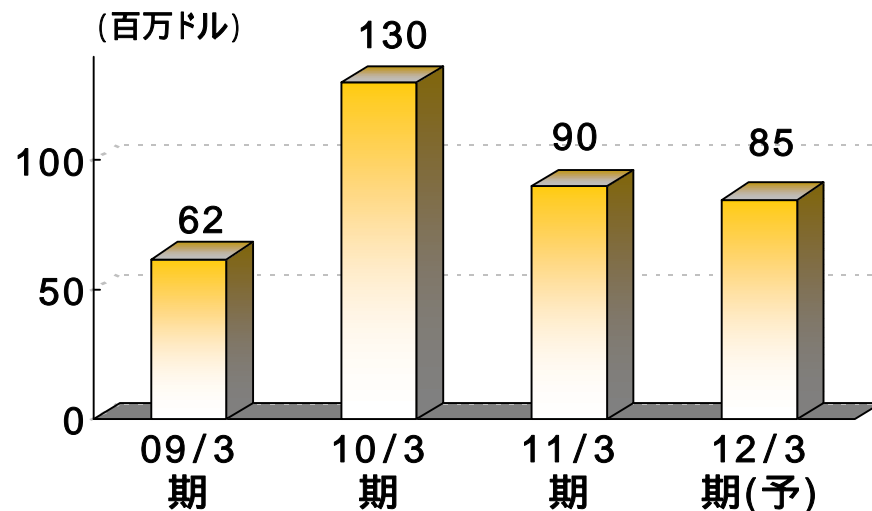
海外即席麺事業

(単位:百万ドル)



	11/3期	12/3期 (予)	増減	
売上高	604	686	+82	+13.6%
営業利益	90	85	-4	-4.8%

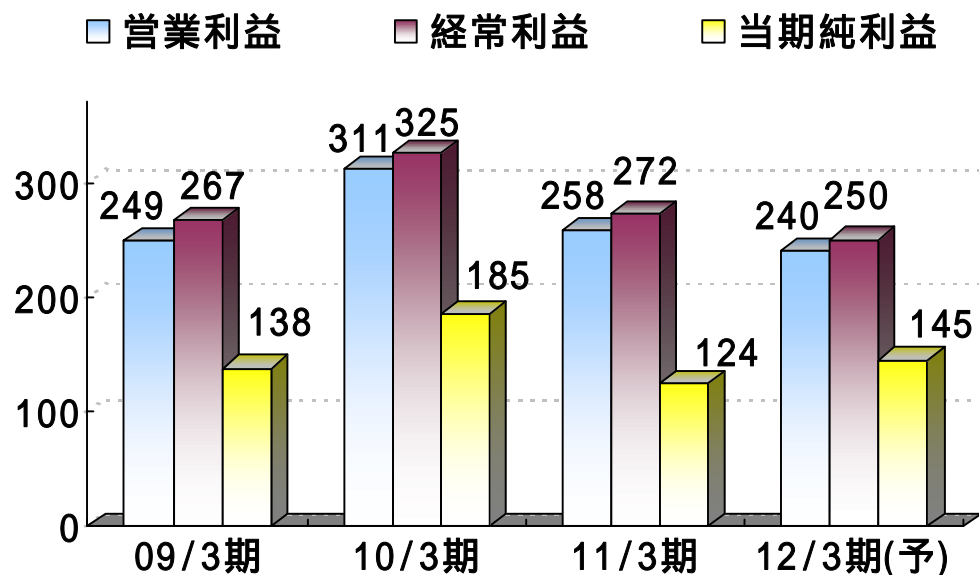
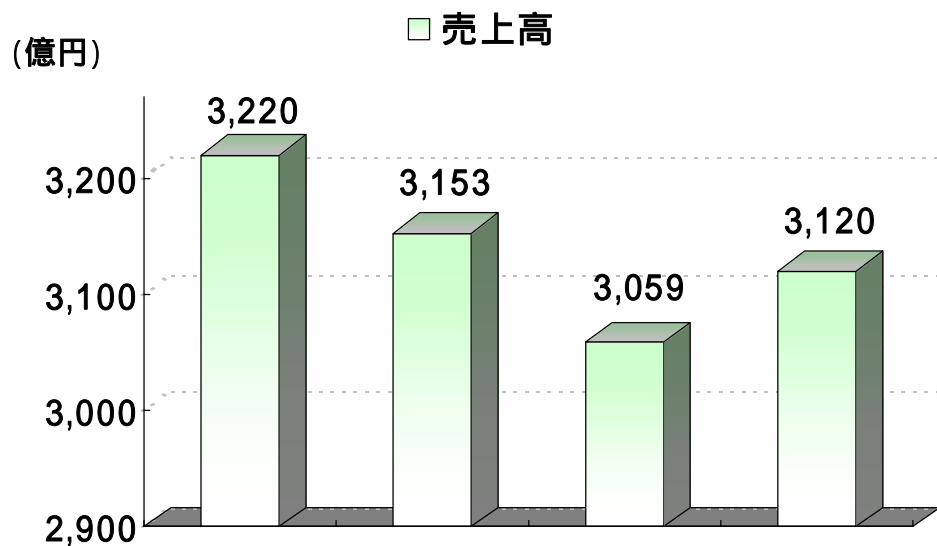
営業利益



要因	影響額
売上高増による利益増加	+ 60
原材料費増加	- 53
製造経費増加	- 3
販管費増加	- 8
合計	- 4



# 当期連結業績予想



(億円)

	11/3期	12/3期(予)	増減	
水産食品事業	334	315	-19	-5.6%
海外即席麺事業	502	514	+12	+2.4%
国内即席麺事業	1,018	1,045	+27	+2.7%
低温食品事業	634	645	+11	+1.8%
加工食品事業	183	174	-9	-5.1%
冷蔵事業	128	148	+20	+15.2%
その他	260	279	+19	+7.2%
(調整額)	0	0	-0	-
<b>売上高合計</b>	<b>3,059</b>	<b>3,120</b>	<b>+61</b>	<b>+2.0%</b>

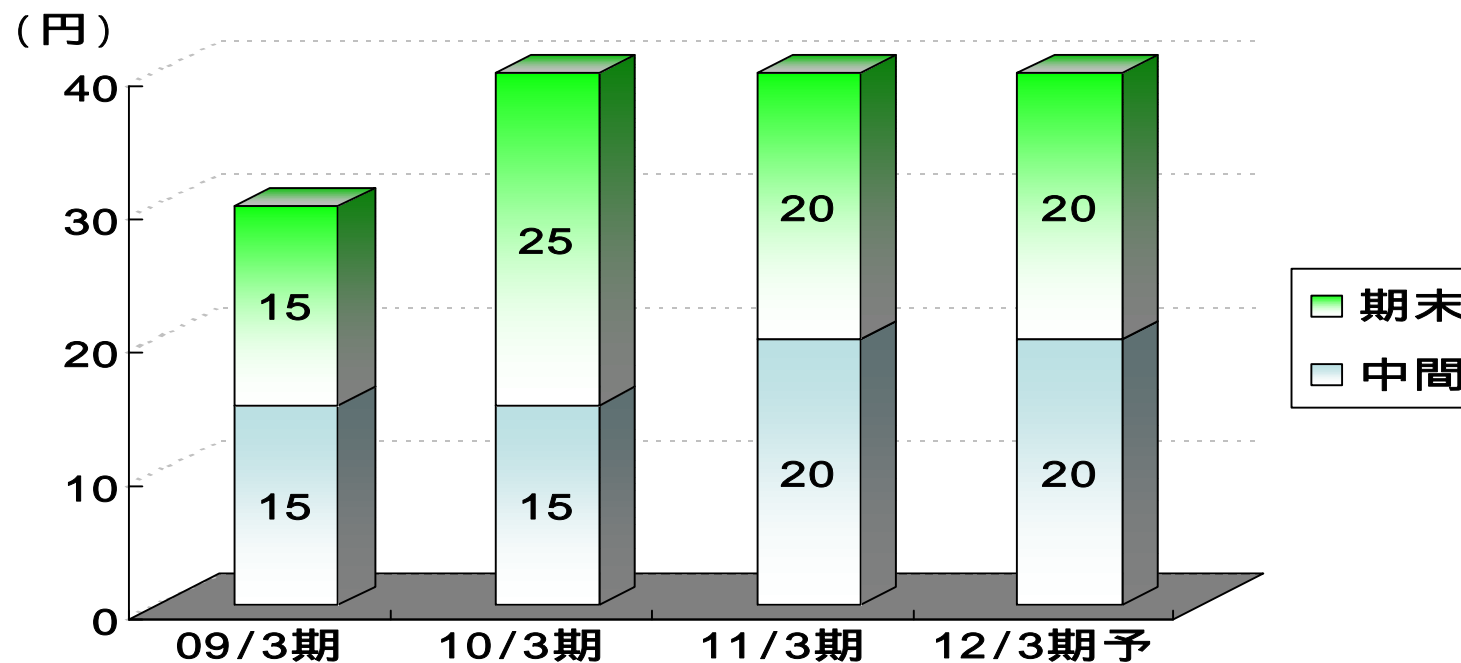
水産食品事業	7	10	+3	+41.4%
海外即席麺事業	74	64	-10	-14.1%
国内即席麺事業	116	107	-9	-8.1%
低温食品事業	43	36	-7	-16.0%
加工食品事業	5	6	+1	+10.5%
冷蔵事業	6	12	+7	+118.2%
その他	12	14	+2	+16.4%
(調整額)	-6	-9	-3	-
<b>営業利益合計</b>	<b>258</b>	<b>240</b>	<b>-18</b>	<b>-7.0%</b>



# 当期連結業績予想 … 配当

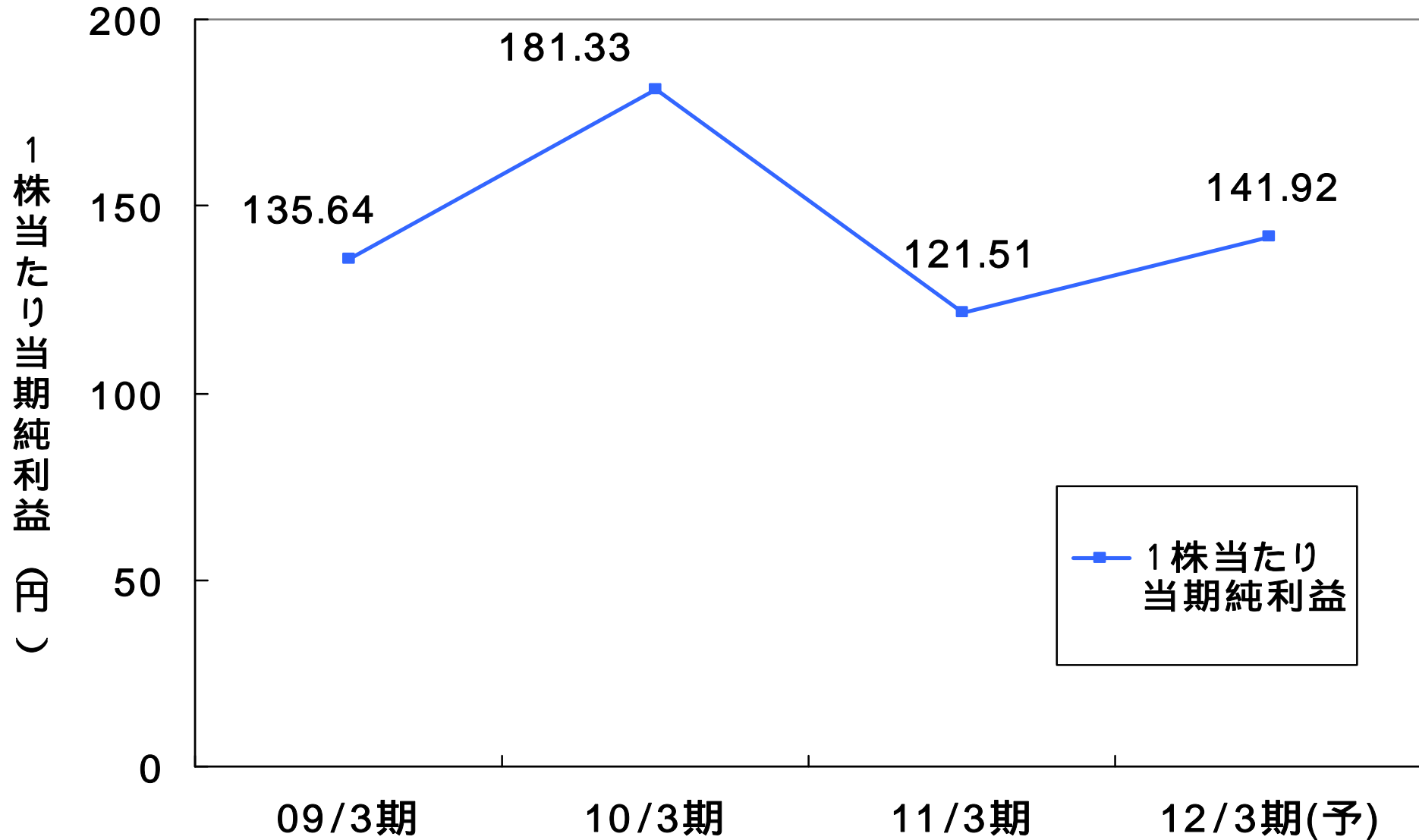
## 配当方針

- ・ 期間業績を加味しながら安定配当を実施
- ・ 安定した配当を継続することを目指す





# 当期連結業績予想 … 1株利益



# Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

この説明会資料に掲載されている、東洋水産株式会社の計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に対しての見通しであり、現時点で入手できる 情報から得られた東洋水産株式会社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績については様々な要因により、見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。



## 東洋水産株式会社